

第 9 回東北大学若手研究者アンサンブルワークショップにて「優秀講演賞」を受賞しました (2022/11/22)

テーマ：災害科学、認知科学、教育実践学

場 所：片平キャンパスさくらホール（宮城県仙台市）（ハイブリッド開催）

URL：<https://web.tohoku.ac.jp/aric/news/event/20221122.html>

https://web.tohoku.ac.jp/aric/news/event/20221122_1.html

11月22日（火）、「第9回東北大学若手研究者アンサンブルワークショップ」がハイブリッドにて開催されました（オンサイト会場は片平キャンパスさくらホール）。

若手研究者アンサンブルワークショップとは、本学附置研究所・センター連携体所属の若手研究者を中心とする部局間共同研究を促進・強化することを目的として開催される、年一回のイベントです。具体的な目的は、「研究発表や聴講を通じた部局間・異分野研究者間の交流」、「共同研究の促進・強化、学際研究への理解の深化」、「新たな共同研究の発足に向けた他研究者へのアピール」になります。また、発表者は、「本年度のアンサンブルグラントを受給している研究チーム（参加・経過報告の発表必須）」と「研究者間の交流や学際研究に興味のある研究者・大学院生」です。

当研究所から本ワークショップに、発表者として齋藤玲助教（認知科学研究分野）が、また企画・運営者として原裕太助教（2030国際防災アジェンダ推進オフィス）が参画しました。

齋藤助教は今回の発表で、多数の研究者の興味を引きつけたとして、「優秀講演賞」を受賞しました。講演題目等は以下の通りです。なお、この発表に関する研究は、「日本心理学会 減災並びに災害からの復興に寄与する研究・活動」と「東北大学附置研究所 2022年度若手研究者アンサンブルグラント（新規課題）」から助成を受けて行われました。

【一般講演】

齋藤玲, 越中康治, 池田和浩, 保田真理, 長谷川真里, 邑本俊亮：

「震災と学校：震災記憶、不安、心理的配慮と心のケアに関する研究展望」

（下線は当研究所の教員）



若手研究者アンサンブルワークショップ
参加者の集合写真



「優秀講演賞」受賞者